

早くも師走です。今の教員は何時でも師走です。3 学期制の学校では、期末考査、採点、評価と続きます。中学校では内申書の準備や三者面接がはじまります。経済ではユーロの変調、企業スキャンダルなど変調が続いています。そのようななかですが、今月も現場と経済学者と社会の三者をつなぐプラットフォームの場であるネットワークの活動情報とこれからの予定をお送りします。

特に今月は、年次大会の講演とシンポジウムが京都で行われます。多忙だからこそ時間を作り、「そうだ京都へ行こう！」といきたいものです。

◆ 目次

【 1 】 最近活動報告

11 月の活動を報告します。

【 2 】 イベントカレンダー

12 月とそれ以降の活動予定をまとめて掲載します。

【 3 】 授業のヒント

【 1 】 最新活動報告

1) 札幌部会 (No.1)が開催されました。

北海道ではじめての部会である札幌部会がスタートしました。

11 月 12 日 (土) 14 時 30 分から、札幌駅すぐ近くの北海道教育大学サテライト教室で第一回の札幌部会が開催されました。

篠原代表の講義 (江戸の幕政改革)、東京の桜修館中等教育学校の高橋先生の実践報告 (便乗値上げ) のあと、今後の部会のすすめ方に関する情報交換を行いました。来年 2 月 4 日には第二回の部会を計画しています。詳細が決まり次第、情報をアップする予定です。

2) 京都部会 (No.11)が開催されました

京都部会が、11 月 18 日 (金) 同志社大学光塩館で、9 か月ぶりに開催されました。参加者 9 名。

篠原代表の報告の後、京都府立すばる高等学校会計科のファイナンスコースに関する紹介が、同校北川先生よりありました。このコースはネットワークメンバーの同志社大学の野間敏克先生がアドバイザーとして参画されている新しいコースです。その後、篠原代表より教科書の市場の効率性の記述の問題点が提起されました。

詳細は以下の HP をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/kyoto/kyoto011report.pdf>

3) 東京部会を開催しました。

43回の東京部会が、11月22日(火)に日本大学経済学部7号館会議室で開催されました。出席者は17名。

主な討議内容は、篠原代表の活動報告のあと、新井から来年の夏の教室のスケジュール案、入試プロジェクトの取り組み、年次大会のシンポジウムの内容の方向性の案などが報告されました。その後、入試問題の検討がされ、千葉西高の杉田先生の授業実践の検討が行われました。さらに、宮尾尊弘先生から市場の効率性をいかに教えるのかの提案がされ討議が行われました。宮尾先生の提案は二つの部分からなり、余剰概念を理解させるユニークな提案があり活発な意見交換がなされました。最後に、北海道豊富高校の山崎先生のTPPを巡る授業実践が報告されました。

詳細はHPの以下をご覧ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/tokyo/tokyo043report.pdf>

4) 「経済セミナー」に連載が掲載されています。

雑誌「経済セミナー」(日本評論社)で連載されている「中学・高校の経済教育」(同誌No.663、2011年12月・2012年1月号)に、和歌山大学の岩野清美先生の実践が報告されています。今号からは中学校の実践報告で、タイトルは「経済における公正をともに考える」で、コメンテータは筑波大附属中学の升野先生です。手に取ってお読みください。

同誌のHPは以下の通りです。

http://www.nippyo.co.jp/magazine/maga_keisemi.html

なお、これまでの連載分は順次、ネットワークのHPにアップする予定です。

【 2 】 イベントカレンダー

これからの主な予定を日程順に掲載します。

■年次大会を開催します。

12月3日(土)に年次大会を同志社大学で開催いたします。

今回は「経済教育と法教育の対話」をタイトルとして、法教育と経済教育の連携や新たな視角からのアプローチを考えます。

内容は以下の通りです。

場所：同志社大学 至誠館2階 S21番教室

スケジュールと内容

13:00～13:05 開会挨拶

13:05～14:15 講演：「法と経済学の視点からみた『政治・経済』の問題」

中川 雅之 (日本大学経済学部教授)

14 : 30～16 : 50 パネルディスカッション

「経済教育と法教育の対話」

司会 樋口 雅夫 (文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官)

報告 太田 正行 (慶應義塾大学非常勤講師)

新井 明 (都立小石川中等教育学校非常勤講師)

岩本 知之 (静岡大学教育学部附属島田中学校教諭)

討論参加 中川 雅之

16 : 50～17:00 統括挨拶

参加方法は下記の HP でご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS,Sympo/2011symposium%20leaflet.pdf>

ちなみに、今年の京都の紅葉はすこし遅れ気味だそうです。経済を学び、教育を紅葉の京都の地で考える。ぜひ足をお運びください。

■経済教育ワークショップ in 福井を開催します。

12月8日(木) 福井大学で開催いたします。

今回は、主に高校の先生方を対象に金融に関する講義と中高の先生向けの歴史を経済から読み解く講義を行います。

内容、参加方法は下記の HP でご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/WS,Sympo/2011%20fukui%20WS%20final.pdf>

■大阪部会 (No.26)を開催します

12月10日(土) 16時00分～18時00分

場所 : AP 梅田大阪

年次大会の総括、年間活動の総括などを行います。懇親会も計画しています。会場、時間が通常とことなりますのでご注意ください。

参加方法は下記 HP でご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/meeting/osaka/Osaka26flyer.pdf>

以下、連携している関連団体のイベントを掲載いたします。

■第26回授業のネタ研究会 IN 関西

今年の「夏の経済教室」の実践報告で圧倒的なインパクトを与えたネタ研の集会です。

日時 2011年12月23日(金)

場所 高津ガーデン (近鉄奈良線 上本町下車 東北徒歩5分)

内容、参加方法は下記の HP でご確認ください。

<http://www.econ-edu.net/announcement/neta/26th%20neta%202011.pdf>

【 3 】 授業のヒント

「簡単シミュレーションのすすめ」

シミュレーションは、現実をモデル化し数値や関係进行操作してその変化から法則や処方を学ばせる学習方法です。多くのシミュレーション教材が開発されていて、利用している先生も多いと思います。東証の「株式学習ゲーム」などもシミュレーション教材です。

ところが本格的なシミュレーションをやるには、仕込みの時間や授業時間の確保が結構大変です。そこで今回のおすすめは「簡単シミュレーション」、いわゆる小ネタに相当するものです。

金融の授業で私が毎回つかう「おほこ」のオークションです。ドイツのインフレやジンバブエのハイパーインフレの写真を見せて、どうしてこんなになるんだろうかと問題をなげます。そして、ちょっとこんな実験をやってみようと言って、教室を半分に分けます。最初は右半分です。生徒にお金（もちろん模造のもの）を配り、ファイルや消しゴムを競り落とさせます。その結果を記録させたら、左半分にお金を配ります。同じことをやります。そうすると、同じ品物なのに落札価格が全然違うことになります。生徒に、なんでこうなるの？と質問します。すぐに、「配ったお金の量が違う」と出てくれば正解ですが、逆に「今欲しいと思っていたからだろう」などといろいろな答えが出てくるのもまたよしです。考えさせた後で、からくり、つまり配ったお金の量が違うことを説明します。

ここから本格的な授業です。お金の量が違うとなぜ落札価格がちがってくるか。貨幣数量説を説明します。そのうえで、それを需要曲線と供給曲線で説明したらどうなるかを作業させます（需給曲線は学習済みとします）。生徒は、そこで納得。写真のようになる原因を体験から学びます。ここから中央銀行の金融政策へはあと一歩です。

今年もこの授業をやりました。次の時間、お金の収集を趣味にしている生徒が、実物のジンバブエの紙幣とドイツの Rentenmark を持って来てくれました。それを生徒に回覧。これは実物教材です。その生徒とは、どんな方法で収集するのか、会話が弾みました。

この教材、中学生にも、大学生にも通用します。大学生は「こんなこどもだましをやった」と思い、最初は冷ややかだったが、実際にやってみて胸に落ちたと書いています。あたまでわかっている、やってみるとまた違った認識が得られるということでもあります。
(新井)

【 4 】 編集後記（みみずのたはこと）

11月23日に京都に行きました。金融広報委員会主催の「金融教育フェスティバル in 京都」で実践報告をするためです。そこでひさしぶりにFPのいちのせかつみさんにお目にかかり、講演をお聞きしました。

いちのせさんは、関西では有名人だろうと思います。金融教育にも熱心で、各地の学校に出向いた授業はまさに名人級です。今回はおかねの話ですが、5分に1度は笑わせること、

実物で勝負、サプライズを与えることを心がけているとのことで、たっぷり楽しみ、またネタをいくつか頂戴してきました。

講演の最初に消費者問題のクイズをやり、「みなさんはダマされやすい人が多いから注意ですね」と振っておき、講演の最後になり、あるしかけをして会場を沸かせました。それは…。これ以上書くとネタバレになりますからやめておきましょう。チャンスがあればぜひ、いちのせさんの講演を聞いてください。当意即妙、よく練られたおちのけぞりました。私など、まだまだ修業が足りないとおもった秋の一日でした。(新井)

=====

登録に心当たりのない方、今後配信を希望されない方は下記会員ページよりお手続き下さい。

<http://www.econ-edu.net/aboutus/contact.html>

=====



編集・発行 : 経済教育ネットワーク

(C) Network for Economic Education ◆◆